

2023 年

- 1 月 雑穀研究会シンポジウム、家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン／オンライン学習会、藤野あわきびひえの会と相模湖チーム五右エ門との協議。
- 2 月 自給農耕ゼミ（小金井）、相模原市長訪問陳情、つぶつぶ学習会話題提供。

2022 年

- 1 月 桂川・相模川流域協議会、ワノサト・プロジェクトの関係者と意見交換。その後、桂川・相模川流域協議会市民部会のオブザーバー参加で説明。NHK 甲府の取材を受けた。
- 3 月 雑穀街道を巡回、小菅と西原で打ち合わせ。
- 4 月 小菅で打ち合わせ。雑穀街道を世界農業遺産登録するための趣意書冊子を作成し配布（1000部）。雑穀街道協議会準備会の賛同団体のお願いを始める。相模原市長らが佐野川を視察。
- 5 月 自給農耕ゼミ（佐野川）で雑穀類播種実習開催。桂川・相模川流域協議会市民部会で賛同を得た。
- 6 月 桂川・相模川流域協議会市民部会で賛同を得て、総会で冊子を配布、さらに、同幹事会で提案する機会を与えられたが、賛同は保留された。NHK おはよう日本で西原の雑穀保存活動とともに、世界農業遺産登録活動が紹介された。
- 7 月 上野原市建設産業部農村地域づくり担当リーダー石井春彦氏、市民部生活環境課長関戸治氏に重ねて趣旨説明、相模湖のチーム五右エ門の白水さんに現況報告をした。
- 8 月 NPO さいはら、ワノサト・プロジェクトおよび NPO 自然文化誌研究会で協議。
参考 植物と人々の博物館サイトへのアクセス数
①小菅村中央公民館 公開：2015 年 6 月 13 日、2022. 7. 20 現在 グーグルマップ表示回数 4,953 回。
②現在地に移転修正後：2022. 2. 15 現在、グーグルマップ表示回数 45,910 回
過去 2 年の Top ページのアクセス数、年間約 7000 件。ユーザーは日本と海外がともに 50%。
- 9 月 佐野川でキビ収穫、脱穀（相模湖）。自給農耕ゼミ（佐野川）、自給農耕ゼミ（小金井）開催。OK シード・プロジェクト学習会で話題提供、ユーチューブ動画記録 1200 回以上視聴。
- 10 月 自給農耕ゼミ（佐野川）、勝坂遺跡・相模原市立博物館見学。
- 11 月 五穀豊穰つぶつぶ新嘗祭で話題提供。
- 12 月 環境を考える相模原の会学習会、桂川・相模川流域協議会市民部会に再度提案。

2021 年

- 1 月 雑穀街道普及会は準備会からの賛同雑穀栽培者により会則を確認して創立した。
- 3 月 種子の配布、種継、栽培法解説を続ける。
- 6 月 小菅村と相模原市緑区佐野川地区で栽培見本園づくり
- 9 月 自給農耕ゼミ（小金井）、隔月開催
- 11 月 相模原市長秘書が佐野川の宮本茶園を視察した。
- 12 月 上野原市長に面会、雑穀街道普及の趣旨説明を行った。

2020 年

- 2 月 藤野仲介者は個人的に雑穀街道協議会設立に賛同せず、雑穀街道普及会（準備会段階）発起人・賛同者から退会し、相模原市緑区の提示した FAO 世界農業遺産に申請するための企画は中止決定したと、地域づくりセンターに通告した。
- 3 月 藤野仲介者は個人的関係の発起人・賛同者（6 名と 1 団体）を雑穀街道普及会名簿からの削除するように求めた。藤野仲介者は個人的に FAO 世界農業遺産に関わらない活動助成をまちづくりセンターに申請した。これにより、行政が中心となる雑穀街道協議会の設立は延期せざるを得なくなった。

- 4月 雑穀街道普及会（準備会、正確には）の活動は一時停滞するが、継続した。
- 5月 雑穀種子の配布、栽培法のネット紹介（小金井市）。上記の事情に伴い、藤野のローカル・シード・バンクを東京農業大学に移転した。森とむらの図書室（藤野分室）も閉館し、原沢文庫を小菅村に移動した。
- 7月 雑穀発泡酒ピーボの復活計画プロジェクトを始めた。
雑穀の種継の継続。さく葉標本の整理。

2019年

冬季は雑穀腊葉標本、図書の整理

- 2月 藤野で自然文化誌研究会。
- 5月 相模原市緑区長に趣旨説明、東京学芸大学学生実習で雑穀街道への小菅村村民意識調査。
- 7月 パーマカルチャー・センターで「雑穀と地域」を講義。相模原市藤野まちづくりセンターで、企画について説明。相模原市緑区長が2020年度からFAO世界農業遺産への申請準備活動を支援すると内定（区長は小菅村まで雑穀街道を直接視察）。藤野で助成申請グループづくりを始めた。
- 9月 上野原市農業委員会会長と雑穀街道の話し合い。
- 11月 藤野仲介者は自己都合で個別に活動するというので、雑穀街道協議会設立に賛同しなくなった。
- 12月 上野原市農業委員会および山梨県富士東部農務事務所と話し合い。

2018年

- 1月 上野原市長、相模原市長、小菅村長、丹波山村長の賛同依頼状。
- 4月 雑穀街道とFAO世界農業遺産セミナー
- 8月 日本環境教育学会イクスカーション来訪
- 9月 丹波山村長及び役場職員に趣旨説明
- 12月 藤野まちづくりセンター長に趣旨説明

2017年

- 1月 東京都公園協会講座で雑穀街道提唱・講義。関東農政局環境保全官を訪問。
- 4月 雑穀街道普及会の賛同者募集開始（伝統知シンポジウム＝第39回環境学習セミナー／藤野）。農水省日本農業遺産認証・講演会。
- 5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。ミレット藤野講座開始。
- 6月 植物と人々の博物館の移転。
- 7月 雑穀街道巡検と2市2村の賛同者交流。
- 8月 パーマカルチャー・トランジション交流フェスティバルで、在来種に関して講演。社会科教員グループの巡検受け入れ。
- 9月 南アジア学会で雑穀の起源と伝播について発表。
- 12月 宮崎県椎葉村（FAO世界農業遺産登録）の焼畑研究会で山村の現代的意義に関して講演。ミレット藤野担当者自己都合で解散。

2016年

- 5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。
- 6月 自給農耕ゼミ7、藤野。
- 11月 上野原市保健センターで、雑穀街道の講義。自給農耕ゼミ8、藤野。
- 12月 小菅村長および上野原市長に雑穀街道の提案。農水省環境保全官を訪問。宮崎県椎葉村（FAO世界農業遺産登録）の焼畑研究会で焼畑雑穀に関して講演。

2015年

- 5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。
- 9月 雑穀街道展示、藤野倶楽部結びの家。
- 11月 雑穀料理教室、藤野倶楽部結びの家。生物多様性アクション大賞審査員賞。

2014年

- 3月 雑穀標本を小菅村に移動、ローカル・シード・バンクを藤野に設置
- 5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村
- 11月 雑穀街道の提唱、第34回環境学習セミナー／小菅。雑穀街道の講義、種市、藤野

前史：

- 2006年 ミレット・コンプレックスを植物と人々の博物館に改称。
- 2003年 ミレット・コンプレックス創立、雑穀栽培講習会を開始。
- 1996年 コカ・コーラ環境教育賞
- 1992年 JTクロスカルチャー大賞、中央アジア調査 1993年
- 1988年 雑穀研究会を事務局として創立。
・・・以後、国内外で雑穀の栽培調査研究
- 1975年 東京学芸大学自然文化誌研究会創部、上野原町西原の調査を開始。
- 1974年 関東山地における雑穀の栽培と調理の調査研究の開始。